



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社
 コード番号 4547 URL <https://www.kissei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 神澤 陸雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務管理部長 (氏名) 北原 孝秀 (TEL) 0263-25-9081
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	32,864	1.5	△625	—	308	△75.9	3,326	△41.3
2022年3月期第2四半期	32,388	0.3	270	△86.8	1,281	△53.9	5,666	28.9

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 26百万円(—%) 2022年3月期第2四半期 △10,037百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	72.13	—
2022年3月期第2四半期	122.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	233,589	200,915	85.7	4,338.62
2022年3月期	238,087	202,180	84.6	4,366.96

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 200,079百万円 2022年3月期 201,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2023年3月期	—	40.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,500	4.8	500	—	2,100	273.7	10,800	△16.4	234.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	51,811,185株	2022年3月期	51,811,185株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	5,695,353株	2022年3月期	5,695,353株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	46,115,832株	2022年3月期2Q	46,115,904株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会資料の入手方法)

決算補足説明資料は、決算短信とあわせて当社ホームページに掲載しています。また2022年11月9日(水)に証券アナリスト・機関投資家向けに決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	13
3. その他	13
(1) 販売実績	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における医薬品業界は、薬価制度改革をはじめとする医療費抑制策の一環として、昨年4月の薬価の中間年改定に続き、本年4月にも薬価改定が実施され、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の加算要件が拡充されるものの、後発品への置換え率に基づく長期収載医薬品の薬価引下げがより厳格化されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界におきまして旺盛なICT需要が継続する一方、建設請負業界、物品販売業界におきましては設備投資意欲に持ち直しの動きが見られるものの、円安の影響により足元の個人消費が押し下げられるなど、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	増減率 (%)
売上高(百万円)	32,388	32,864	1.5
営業利益又は 営業損失(△)(百万円)	270	△625	—
経常利益(百万円)	1,281	308	△75.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	5,666	3,326	△41.3

・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、27,946百万円（前年同期比3.6%増）となりました。コロナ禍の中、従来からのリアル面談と各種デジタルコンテンツを効果的に活用したハイブリッド型の医薬情報活動を推進いたしましたことなどにより、過活動膀胱治療薬「ベオーバ錠」、腎性貧血治療薬「ダルベポエチン アルファBS注JCR」などの売上が増加しましたことに加え、輸出売上、コ・プロモーションフィーなどが増加したことにより、増収となりました。なお、EAファーマ株式会社と共同開発を行いました潰瘍性大腸炎治療薬「カログラ錠」を本年5月に、顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬「タブネオスカプセル」を本年6月に、それぞれ新発売いたしました。

情報サービス事業の売上高は3,335百万円（前年同期比11.2%減）、建設請負事業の売上高は1,250百万円（前年同期比7.5%減）、物品販売事業の売上高は332百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

・利益の状況

利益面では、増収に加え、売上原価率が改善しましたものの、研究開発費を主とした販売費及び一般管理費の増加などにより、営業損失を計上し、経常利益は減益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の計上がありましたものの減益となりました。

・研究開発の状況

ライジェルフーマシューティカルズ社（アメリカ）より技術導入いたしました慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬ホスタマチニブ（一般名、開発コード：R788）につきましては、本年4月に承認申請を行いました。また、本年9月には、丸石製薬株式会社と共同開発を行っております透析患者におけるそう痒症治療薬ジフェリケファリン（一般名、開発番号：MR13A9）につきましては、同社から承認申請が行われました。当社の創製品であります、子宮筋腫・子宮内膜症治療薬リンザゴリクス（一般名、開発番号：KLH-2109）につきましては、子宮筋腫を適応症として国内第Ⅲ相臨床試験を開始いたしました。

海外におきましては、リンザゴリクスの日本などアジアの一部を除く全世界における独占的な開発権及び販売権を許諾しているオブシーバ社（スイス）が、会社更生手続きの開始等を決定したことを受け、当社は本剤に関する全ての権益につきまして、オブシーバ社からの返還を進めております。なお、オブシーバ社は、本剤の北米、アジア以外における商業化についてセラメックス社（英国）とサブライセンス契約を締結しており、当社は、オブシーバ社とのライセンス契約を解約した上で、同契約に従い、オブシーバ社とセラメックス社とのサブライセンス契約を譲り受けます。現在、欧州における本剤の発売に向け、セラメックス社との協議を継続しております。また、オブシーバ社は本年8月に、米国食品医薬品局（FDA）に申請していた、本剤の子宮筋腫を適応症とする新薬承認申請（NDA）を取り下げました。当社は、本剤の米国における開発につきまして現在、申請データ等の精査を行っており、その結果をもって開発方針を決定します。

リンザゴリクスのアジア地域における技術導入につきましては、昨年9月に中国においてバイオジェニューイン社

(中国)に独占的な開発権及び販売権を許諾したことに続きまして、本年11月、シンモサバイオファーマ社(台湾)に台湾における同様の独占的権利を許諾いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

・資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は233,589百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,498百万円減少しました。流動資産は現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産が減少しましたが、棚卸資産などが増加しましたことにより、173百万円増加し99,515百万円となりました。固定資産は投資有価証券の減少などにより、4,671百万円減少し134,074百万円となりました。

・負債の状況

当第2四半期連結会計期間末の負債は32,674百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,233百万円減少しました。流動負債は、支払手形及び買掛金が増加しましたが、未払法人税等が減少しましたことなどにより、2,245百万円減少し16,499百万円となりました。固定負債は繰延税金負債の減少などにより988百万円減少し、16,175百万円となりました。

・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産は200,915百万円となり、前連結会計年度に比べ1,264百万円減少しました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が減少したことによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の84.6%から85.7%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末より1,620百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末では51,383百万円(前連結会計年度末比3.1%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、当第2四半期連結累計期間において3,158百万円の支出となりました。仕入債務の増加などの収入増加要因がありました一方で、その他流動資産の増加、棚卸資産の増加、法人税等の支払の増加などが支出増加要因となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、当第2四半期連結累計期間において2,936百万円の収入となりました。長期前払費用の計上などの支出がありました一方で、投資有価証券の売却による収入などがありました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、当第2四半期連結累計期間において1,407百万円の支出となりました。主な要因は、配当金の支払いです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

医薬品業界におきましては、薬価制度改革をはじめとする医療費抑制策の影響を受け、引き続き厳しい経営環境下にあります。また、当社を含む当グループ各社におきましても、コロナ禍や円安の影響などにより、先行き不透明な業界環境が継続するものと予想されます。現時点での2023年3月期の連結業績見通しにつきましては、以下のとおりです。

連結業績見通し

	2022年3月期 実績	2023年3月期 当初見通し	2023年3月期見通し (対当初見通し増減額)	対2022年3月期	
				増減額	増減率(%)
売上高(百万円)	65,381	68,000	68,500 (500)	3,119	4.8
営業利益又は営業損失 (△)(百万円)	△1,402	2,800	500 (△2,300)	1,902	—
経常利益(百万円)	562	4,400	2,100 (△2,300)	1,538	273.7
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	12,921	10,000	10,800 (800)	△2,121	△16.4

・売上高

当初見通しより500百万円増額の68,500百万円(前年度比4.8%増)に修正いたします。

第2四半期連結累計期間の業績、ならびに現況を加味した見直しを行いました結果、医薬品事業におきまして500百万円の増額、情報サービス事業におきまして700百万円の増額、建設請負事業におきまして900百万円の減額、物品販売事業におきまして200百万円の増額といたしました。

・利益

第2四半期連結累計期間におきましては、当初計画と比べ、リンザゴリクスの海外導出先であるオブシーバ社とのライセンス契約解約に向けた海外臨床試験の継承など、研究開発費を主に販売費及び一般管理費が増加しました一方、売上高の増加と売上原価率の改善などにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は当初見通しを上回りました。年度後半では、売上原価率の当初計画からの上昇に加え、年度前半に引き続いて、リンザゴリクスの海外臨床試験費用を主に販売費及び一般管理費の増加を見込んでおります。

通期の利益見通しにつきましては、営業利益は当初見通しより2,300百万円減額の500百万円(前年度比-%)、経常利益は当初見通しより2,300百万円減額の2,100百万円(前年度比273.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は当初見通しより800百万円増額の10,800百万円(前年度比16.4%減)の見通しであります。なお、年度後半の営業外損益ならびに特別損益におきましては、投資有価証券売却益として約8,000百万円の特別利益を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,013	28,388
受取手形、売掛金及び契約資産	22,808	22,399
有価証券	23,139	23,453
商品及び製品	10,491	10,686
仕掛品	63	670
原材料及び貯蔵品	8,433	8,640
その他	4,392	5,275
流動資産合計	99,342	99,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,132	39,183
減価償却累計額	△30,525	△30,864
建物及び構築物（純額）	8,607	8,318
土地	12,611	12,611
建設仮勘定	—	2
その他	16,469	16,258
減価償却累計額	△13,613	△13,329
その他（純額）	2,856	2,929
有形固定資産合計	24,074	23,862
無形固定資産	1,569	1,604
投資その他の資産		
投資有価証券	96,631	91,908
退職給付に係る資産	2,460	2,675
繰延税金資産	524	477
その他	13,508	13,580
貸倒引当金	△23	△33
投資その他の資産合計	113,101	108,607
固定資産合計	138,745	134,074
資産合計	238,087	233,589

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,104	5,052
短期借入金	1,640	1,590
未払法人税等	3,497	859
賞与引当金	1,707	1,801
その他の引当金	151	162
契約負債	2,696	2,554
その他	4,946	4,478
流動負債合計	18,744	16,499
固定負債		
繰延税金負債	16,259	15,163
役員退職慰労引当金	181	184
資産除去債務	138	138
その他	583	688
固定負債合計	17,163	16,175
負債合計	35,907	32,674
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,226	24,226
利益剰余金	118,183	120,218
自己株式	△12,912	△12,912
株主資本合計	153,854	155,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,095	41,909
退職給付に係る調整累計額	2,435	2,279
その他の包括利益累計額合計	47,531	44,189
非支配株主持分	794	836
純資産合計	202,180	200,915
負債純資産合計	238,087	233,589

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	32,388	32,864
売上原価	16,924	16,680
売上総利益	15,463	16,184
販売費及び一般管理費	15,193	16,810
営業利益又は営業損失(△)	270	△625
営業外収益		
受取利息	24	10
受取配当金	795	731
有価証券評価益	107	21
その他	105	213
営業外収益合計	1,033	977
営業外費用		
支払利息	11	10
貸倒引当金繰入額	—	15
その他	9	17
営業外費用合計	21	43
経常利益	1,281	308
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	6,634	4,111
特別利益合計	6,634	4,111
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産処分損	23	2
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	619	—
特別損失合計	642	2
税金等調整前四半期純利益	7,273	4,418
法人税、住民税及び事業税	1,837	629
法人税等調整額	△279	420
法人税等合計	1,558	1,049
四半期純利益	5,715	3,368
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	42
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,666	3,326

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	5,715	3,368
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,786	△3,183
退職給付に係る調整額	33	△158
その他の包括利益合計	△15,753	△3,342
四半期包括利益	△10,037	26
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,087	△15
非支配株主に係る四半期包括利益	49	42

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,273	4,418
減価償却費	1,755	1,994
引当金の増減額 (△は減少)	△115	122
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△442
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△83	—
受取利息及び受取配当金	△820	△742
支払利息	11	10
有価証券売却損益 (△は益)	—	△50
有価証券評価損益 (△は益)	△107	△21
固定資産売却損益 (△は益)	0	—
固定資産処分損	23	2
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6,634	△4,111
投資有価証券評価損益 (△は益)	619	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	1,485	408
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,414	△1,009
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△812	△1,643
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,914	948
契約負債の増減額 (△は減少)	1,406	△141
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△778	△59
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	4	△4
その他	△10	△12
小計	1,716	△335
利息及び配当金の受取額	765	681
利息の支払額	△11	△10
法人税等の支払額	△1,538	△3,493
営業活動によるキャッシュ・フロー	931	△3,158
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△38	△38
定期預金の払戻による収入	42	42
特定金銭信託の払戻による収入	97	888
有形固定資産の取得による支出	△642	△624
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△198	△284
投資有価証券の取得による支出	△2,502	△392
投資有価証券の売却及び償還による収入	9,560	4,332
貸付けによる支出	△4	△5
貸付金の回収による収入	17	8
長期前払費用の取得による支出	△1,033	△1,002
その他	△18	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,280	2,936

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△50
長期借入金の返済による支出	△8	—
リース債務の返済による支出	△46	△66
配当金の支払額	△1,245	△1,291
自己株式の取得による支出	△0	—
自己株式の売却による収入	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,300	△1,407
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,912	△1,620
現金及び現金同等物の期首残高	43,447	53,004
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,359	51,383

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品	情報サービス	建設請負	物品販売	
売上高					
医薬品事業					
医薬品販売	22,947	—	—	—	22,947
ヘルスケア食品販売	1,813	—	—	—	1,813
技術料	171	—	—	—	171
その他	2,036	—	—	—	2,036
情報サービス事業	—	4,552	—	—	4,552
建設請負事業	—	—	2,098	—	2,098
物品販売事業	—	—	—	401	401
顧客との契約から生じる収益	26,968	4,552	2,098	401	34,020
外部顧客への売上高	26,968	3,755	1,351	313	32,388
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	796	747	87	1,631
計	26,968	4,552	2,098	401	34,020
セグメント利益又は損失(△)	△266	362	79	16	192

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	192
セグメント間取引消去	37
固定資産の調整額	38
その他の調整額	2
四半期連結損益計算書の営業利益	270

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品	情報サービス	建設請負	物品販売	
売上高					
医薬品事業					
医薬品販売	23,550	—	—	—	23,550
ヘルスケア食品販売	1,766	—	—	—	1,766
技術料	220	—	—	—	220
その他	2,410	—	—	—	2,410
情報サービス事業	—	4,456	—	—	4,456
建設請負事業	—	—	1,716	—	1,716
物品販売事業	—	—	—	452	452
顧客との契約から生じる収益	27,946	4,456	1,716	452	34,572
外部顧客への売上高	27,946	3,335	1,250	332	32,864
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,120	466	119	1,707
計	27,946	4,456	1,716	452	34,572
セグメント利益又は損失(△)	△1,108	370	36	20	△681

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△681
セグメント間取引消去	58
固定資産の調整額	1
その他の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)	△625

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

3. その他

(1) 販売実績

当連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業	26,968	83.3	27,946	85.0	978	3.6
泌尿器科用薬剤	7,591	23.4	8,407	25.6	816	10.8
腎・透析科用薬剤	7,037	21.7	7,088	21.6	51	0.7
希少疾病用薬剤	30	0.1	243	0.7	213	712.6
代謝内分泌科用薬剤	3,731	11.5	3,294	10.0	△437	△11.7
産婦人科用薬剤	544	1.7	444	1.4	△100	△18.4
眼科用薬剤	274	0.8	232	0.7	△41	△15.3
その他の薬剤	3,738	11.5	3,840	11.7	101	2.7
ヘルスケア食品	1,813	5.6	1,766	5.4	△47	△2.6
技術料	171	0.5	220	0.7	48	28.4
その他	2,036	6.3	2,410	7.3	373	18.4
情報サービス事業	3,755	11.6	3,335	10.1	△420	△11.2
建設請負事業	1,351	4.2	1,250	3.8	△101	△7.5
物品販売事業	313	1.0	332	1.0	19	6.1
合計	32,388	100.0	32,864	100.0	476	1.5
(うち輸出高)	(1,877)	(5.8)	(2,407)	(7.3)	(529)	(28.2)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。